

聖書通読一日一問

月 日 申命記2章

問題：シホンは、イスラエルの人々が自分の領地を通ることを許しましたか。

答え：

月 日 ルカの福音書 10：1-16

問題：イエス様は70人を特別に選び町や村に遣わされました。送るときに一つのチームを何人になさいましたか。

答え：

月 日 申命記3章

問題：24節25節はだれの語った言葉ですか。下から選んでください。(ヒント1：1)

神 モーセ ヨシュア

月 日 ルカの福音書 10：17-24

問題：「あなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい」と言った方はだれですか。

答え：

月 日 申命記4章

問題：太陽や月や星を拝まないようにとは、何節に言われていますか。

答え：

月 日 ルカの福音書 10：25-42

問題：私どもの隣人とはどの人を指していますか。選んで○で囲んでください。

祭司 サマリヤ人 レビ人

月 日 申命記5章

問題：29節を書いてください。

答え：

いのちのことば社の一日一問を参考にしています。

喜び者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。ローマ人への手紙2:15

人は誰にでも、嬉しい時や悲しい時、また寂しい時があると思います。その時あなたは、誰とその気持ちをつかち合っていますか。人の喜びをねたまず、悲しんでいる人に安易な気休めを言わず、寂しい時には、あなたのそばに立って、一緒に笑い、一緒に泣き、無理なアドバイスするよりは、ただあなたの話を聞いてくれる友。あなたにはそのような友がいますか。私にはいます。その友はイエスキリストです。イエス・キリストの語ったことばに、次のようなことばがあります。すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイの福音書 11章28節
この世の中、疲れた人や重荷を負っている人と一緒にいたいという人は、どれぐらいいるでしょうか？しかし、イエスさまは、疲れた私に、重荷を負っていた私に、心に憤りをもって悩んでいた私に、障害を持ち苦しんでいた私に手をさし伸ばされる友でした。あなたも、イエスキリストと友になってみませんか。

礼拝のご案内

日曜礼拝(日曜日)

11:00~12:00

水曜礼拝(祈り会)休

11:00~12:00

金曜日礼拝(祈り会)

20:00~21:00

2022年11月 6日

401

聖書キリスト教会

伊勢崎聖書キリスト教会

霜月の11月
暖かい主の臨在を
待ち望む。



伊勢崎聖書キリスト教会
伊勢崎聖書キリスト教会
伊勢崎聖書キリスト教会

〒372-0855
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4
TEL/FAX 0270-55-3177
japanese0691@gmail.com

かん よんろく
牧師 姜 永禄

礼拝の順序

司会：姜 永禄
説教：姜 永禄

賛美&祈り アルニオン賛美チーム

招 詩 詩篇100篇

新 聖 歌 298

主の祈り

聖 書 第一サムエル記15：22

説 教 「主は、」

聖 餐 式

新 聖 歌

献金祈禱 説教者

祝 禱 説教者

報 告

敬称略

献金は自由献金です。

詩篇100篇

全地よ。
主に向かって喜びの声をあげよ。
喜びをもって主に仕えよ。
喜び歌いつつ 御前に来たれ。
知れ。主こそ神。
主が私たちが造られた。
私たちは主のもの
主の民その牧場の羊。
感謝しつつ 主の門に
賛美しつつ その大庭に入れ。
主に感謝し御名をほめたたえよ。
主はいつくしみ深く
その恵みはとこしえまで
その真実は代々に至る。

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげめさせたまえ。御国を来たせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わせず悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。

アーメン

報告&お知らせ

- 1、本日、はじめていらっしゃった方々を心から歓迎いたします。
- 2、コロナの拡散を防ぐ対策として、日曜学校、水曜礼拝、韓国語礼拝をしばらく休みます。
- 3、礼拝は教会とオンラインで同時に行います。
- 4、毎週、金曜日の午後8時から教会にて金曜礼拝(祈り会)を行います。
- 5、本日、聖餐式があります。

祈りの課題

- 1 教会に属している方々が、御言葉と賛美と祈りの中で、主と深く交わり、愛の人となりますように。
- 2 教会に属している方々の健康と安全、平安が、主の御手により守られますように。
- 3 水曜・金曜礼拝(祈り会)に主の大いなる御業をみる事ができますように。
- 4 医療従事者、福祉施設で働く方々の健康が守られますように。
- 5 全世界の教会が安心して礼拝の恵みにあずかる事が出来るように。